

資料番号	3
------	---

令和7年9月11日
課名 土木建築局港湾振興課
担当者 ポートセールス担当監 野田
内線 4033

## 広島港における中国航路改編に伴う東南アジアへの航路延伸について

### 1 要旨・目的

広島港において中国船社の寧波遠洋運輸股份有限公司（Ningbo Ocean Shipping Co. Ltd.）が運航している中国航路について、新たな寄港地として「ハイフォン（ベトナム）」及び「太倉（中国）」が追加されることとなった。

これにより、広島港における東南アジアへの航路が7年ぶりに復活することとなる。

〔参考：平成22年6月～平成30年9月までワンハイラインズが、広島港からハイフォンへの航路を週1便運航〕

### 2 現状・背景

寧波遠洋運輸股份有限公司は、日本では、京浜港・清水港・名古屋港・阪神港・門司港・博多港において航路サービスを展開しており、広島港においては、令和6年5月から週1便で中国航路を運航している。

この度、同社における日中航路を再編し、広島港へ寄港する航路へハイフォン・太倉を寄港地として加えることで、コンテナ貨物の定時性確保とサービスの拡充を図るもの。

### 3 概要

#### (1) 新規航路の概要

区分	寄港地
現在 (広島週1便(金))	寧波(土)→乍浦(日)→博多(火)→大阪(水)→神戸(水)→ <u>広島(金)</u> →乍浦(日)→寧波(火)
変更後 (広島週1便(金))	<u>ハイフォン(日)</u> →寧波(土)→乍浦(日)→博多(火)→大阪(水)→神戸(水)→ <u>広島(金)</u> → <u>太倉(日)</u> →寧波(月)→ <u>ハイフォン(土)</u>
サービス開始	令和7年10月3日(金)の広島港寄港便から 輸出：広島→ハイフォン(所要日数：8日) 輸入：ハイフォン→広島(所要日数：12日)
代理店	山九(株)広島支店

※広島港の国際定期航路は別紙のとおり

#### (2) 運航船舶の概要 ※当該ループを3隻で運航

船名	船籍	最大積載	総トン数
NEW MINGZHOU28/66/68	香港	1,098TEU	9,998トン

#### (3) 今後の対応

広島港の更なる利用促進に繋がるよう、港湾運営会社である(株)ひろしま港湾管理センターや船舶代理店等と連携し、当該航路サービスの活用について荷主等に対する積極的な働きかけを行う。

